

## 合併契約書

千葉県火災共済協同組合（以下「甲」という。）と千葉県中小企業共済協同組合（以下「乙」という。）とは、合併に関する本契約を締結する。

（合併の方法）

第1条 甲と乙とは合併し、甲は存続し、乙は解散する（以下「本合併」という。）。

（合併後の組合の名称）

第2条 合併後の甲の名称は、千葉県火災共済協同組合と称する。

（合併後の地区及び出資1口の金額）

第3条 合併後の甲の地区は千葉県とし、出資1口の金額は金100円とする。

（出資1口の金額の減少）

第4条 甲は平成26年12月12日に臨時総代会を開催し、払込済出資総額を変更しないで出資1口の金額200円を100円に減少するとともに出資の総口数を2倍にする旨の決議を行い、かつ、出資1口の金額を200円から100円に減少する定款変更決議を行う。

2 甲は、前項に規定する出資1口の金額の減少及び出資1口の金額の減少に係る定款変更につき必要とされる諸般の手續を実行し、遅滞なく行政庁に定款変更の認可を申請するものとする。

3 第1項に規定する出資1口の金額の減少及び出資1口の金額の減少に係る定款変更は、前項に規定する定款変更が認可されることを条件とし、合併の効力発生日をもって効力を生ずるものとする。

（合併比率）

第5条 合併比率は対等とする。

（出資の割当）

第6条 第4条に規定する出資1口の金額の減少及び出資1口の金額の減少に係る定款変更が効力を生ずることを条件として、甲は、合併の効力発生日の前日の乙の組合員名簿に記載された各組合員に対して、その所有する乙の出資1口に対し、甲の出資1口の割合をもって割当交付する。

（合併承認総代会）

第7条 甲及び乙は、本契約の承認並びに合併の実行に必要な事項の決議を求めため、平成26年12月12日に各々総代会を開催するものとする。ただし、各々総代会を開催し難い事情が発生したときは、甲乙協議のうえこれを変更することができる。

（合併の認可申請）

第8条 甲及び乙は、合併に関する諸般の手續を実行し、遅滞なく行政庁に合併の認可の申請をするものとする。

（合併の効力発生日）

第9条 本合併の効力発生日は、平成27年4月1日とする。ただし、合併の効力発生日前に合併に必要な手續を完了することが困難な場合には、甲乙協議のうえ、これを延期することができる。

(合併財産の承継)

第10条 乙は、平成26年3月31日現在の貸借対照表、その他同日現在の計算を基礎とし、合併の効力発生日に至るまでの増減を加減したその資産、負債その他一切の権利義務を合併の効力発生日において甲に引き継ぎ、甲はこれを承継する。

(合併前の財産の管理等)

第11条 甲及び乙は本契約締結後、合併の効力発生日に至るまで善良な管理者の注意をもって一切の資産及び負債並びに権利の管理保全をなす。なお必要ある場合は甲乙協議のうち、合併の効力発生日前においても乙はその事業一切を挙げて甲に委任することがある。

(合併後の職員)

第12条 甲より乙に出向している職員は、合併の効力発生日をもって出向を解消し、甲において引き続き雇用する。

(合併後の役員)

第13条 合併後の甲の理事及び監事は、合併の効力発生日前の甲乙各々の役員が就任し、任期は本合併がない場合に在任すべき時までとする。

(合併条件の変更及び解除)

第14条 本契約締結後、合併の効力発生日に至るまでにおいて、不可抗力により甲乙両者の資産に著しい変動を生じたときは、甲乙協議のうち合併条件を変更し又は本契約を解除することができる。

(協議事項)

第15条 本契約に定めたほか、合併の実行に必要な事項は、本契約の趣旨に基づいて甲乙協議のうちこれを決定する。

本契約を証するため本書2通を作成し、甲乙それぞれ記名押印のうち各1通ずつを保有する。

平成26年11月26日

千葉県千葉市中央区富士見2丁目22番2号  
(甲) 千葉県火災共済協同組合  
代表理事 勅使河原 中

千葉県千葉市中央区富士見2丁目22番2号  
(乙) 千葉県中小企業共済協同組合  
代表理事 勅使河原 中